

陳情

9月定例会に陳情7件が提出され、総務建設委員会、福祉文教委員会に振り分けて付託し、それぞれの委員会で審査され、本会議の場において採決されました。

【陳情第4号】「愛知県福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書」の提出を求める陳情

【陳情第5号】「住民の安心・安全を支える行政サービスの充実を求める陳情」

【反 対】 国や地方自治体の財政が厳しい折、行政の簡素化や効率化に逆行するので反対。住民の安心と安全を支える行政サービスを継続

【陳情第6号】「国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情」

【趣旨採択】 一定の理解はできるが、際限なく医療助成をしていくことになる懸念があり、県財政も厳しいので趣旨採択。県民にとって本当に大切な医療であるから賛成。

【陳情第7号】「愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情」

【趣旨採択】 県の財政も厳しい状況であるので、拡充は難しい。しかし、私立高校の現状も理解でき

【賛 成】 県下の3人に1人が私学で学んでいることから、県においても拡充を求めている。

【陳情第8号】「私立高校生の父母負担を軽減し学費の公私格差を是正するため市町村独自の授業料情勢の充実を求める陳情」

【反 対】 所得制限はあるが手厚いもので現状のままでもよい。

【陳情第9号】「定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める陳情」

【賛 成】 きめ細かい学校運営をするために必要である。教育の機会均等などその維持の面を考慮される必要がある。

【陳情第10号】「震災復興住宅への三州瓦採用促進に係る意見書の提出を

求める陳情

【賛 成】 瓦業界は高浜市の基幹産業で高浜市の発展に寄与していただいていることから震災後の瓦の採用を県に申し出をして三州瓦の採用に寄与するべき。

意見案

9月定例会に意見案2件が提出され、本会議の場において採決されました。

【意見案第6号】「定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書」

意見書の提出先は、内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣です。

【意見案第7号】「震災住宅への三州瓦採用促進に係る意見書」

意見書の提出先は、愛知県知事です。

● 陳情書提出件数の推移 (平成19年3月定例会から平成23年12月定例会まで)

